

備え 3.11から

第17回 防災報道を問う

マスコミ倫理懇分科会「減災・防災報道」

本当に役立つ情報とは

新聞社放送局などによるマスコミ倫理懇分科会... 氏社部長兼副社長 大塚から十一年...

●新聞 河北新報・須藤重敏の報道への要望では... 氏(報道部長)が取材... 東日本大震災を...



マスコミ倫理懇分科会、被災・防災報道... つい語られた分科会、名目中のナルド...

●テレビ 九日、三重県では記録的豪雨多数の死者... 行政としても早期の対策が必要...

●自治体 三重は今後も津波の危険性が高い... 津波が来たら何をすればいいか...



教訓正しく伝えよ

低く、犠牲者は一南高北 たかた... 被災者に寄り添わない、むしろ打...

地震対策

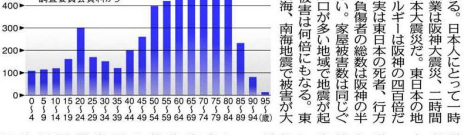
いといけない、災害後に義務し... 阪神大震災では、犠牲者の八割...

世界でマンニチュート(M4)以上の地震が起きた... 東北地方の津波被害は、いまだに...

基調講演 限本 邦彦客員教授



2010年度版の世界の地震発生分布図。赤い点が震源。日本は分布の点に隠れ、列島が見え...



阪神大震災の死者数... 死者の年齢別分布... 耐震性の低い家に住んでいた高齢者...

## いわきの仮設に当選

実りの秋、仮設住宅の食卓にのぼったナシをかじりながら光一さんが懐かしそうにつぶやいた。「大熊町でも良いナシが採れたんですよ」

一家の自宅がある大熊は太平洋を望む温暖な土地。同じ福島県でも、今の仮設住宅がある会津若松市とは100\*も離れ、気候

も風土も違う。「冬の寒さや雪かきの苦勞を思うと、今から憂鬱(ゆううつ)」と幸さんがため息をつく。会津でできた知人からも「浜の人は住めねえよ」と冗談交じりに言われる。

愛知県豊田市の県営住宅から会津若松の温泉旅館、そして現在暮らす仮設住宅…。原発事故以来、半年余りで転々と住居を変えた一家にとって、やはり古里は福島県の沿岸部だ。「だから、駄目でもともとと思

原発1\*からの避難  
いつの日か

—17—

つつ、いわき市の仮設住宅へ入居申請したんです。そうしたら最近、当選の知らせが来た」と光一さん。大熊と生活圏の重なるいわきへ移転を望む町民は多い。倍率は3倍と聞いていただけに、突然の朗報だった。

ただ、今また転居すれば高校受験を控えた沙也加さんは3度目の転校となってしまう。「さすがにそれはできない。沙也加の卒業を待ち、次の春に移ろうと考えています」と光一さん。それまでには、国や東電

の補償は進んでいるのか。生活再建の道筋は少しは見えているだろうか。いまだ晴れない不安を抱えたまま、一家は会津で冬を越すことを決めた。

**【いわき】さん一家** 原発事故で福島県大熊町から避難。光一さん(43)と妻幸さん(43)、次女沙也加さん(15)は豊田市で暮らし、会津若松市に移った。長女梨奈さん(18)は東京で大学生生活。